

a	1-1.備品	1-2.事業	1-2.1 4月度 昨年対 比	1-2.1 昨対 比の 内容	1-3.職員	1-1 市内同業他社に対してのお願い	1-2 各務原市行政に対しての要望
居宅部会 訪問部会	マスクが足りない時期もあったが結局、何とかあった。 今後、フェイスシールドまでやる対応の必要性があるのか不明 インターネットは無理やり何とかした	事業の大幅減収になった 今後、再開しても戻るのが不安 事業所に行けない、訪問できないママが今後も続くのだろうか？	80%～ 99%	介護報酬	無理やり休ませなかった 今後従業員をずっと雇用し続けられるのが不安	事業所再開、開放がいつなのかが知りたい	マスクの配布など今後も対応願いたい マスクの配布について 市役所も在庫 を持ち、有事の際は医療介護に優先的に分ける(自費でいい)のもありかと。またその商品の期限があるようであれば、 期限が切れる前に、地域の事業所に売る(自費でいい)を 対応してもらえないか？
施設部会	今のところ特に困ったことはありませんでしたが、今後、 プラスチック手袋 の不足が心配です。	現時点で特に困ったことはありませんでした。	100%変 化なし		学校が休校となり、小さなお子さんのいる職員が休まれるため職員不足の日もありました。	お互い情報共有を図り、気を緩めることなく引き続きコロナ対策に努めていきます。	風評被害があるので仕方のないことだと思いますが、出来れば正しい情報が施設に入ってくるようにしてもらえると有難いです。どここの医療機関からコロナの患者が出た。入院患者がいる。など、本音がデマが分からなくなり、新規入居者の受け入れの際に困ったことがありました。
居宅部会 訪問部会 通所部会 施設部会	結核疑いの利用者に対して N95マスク が入手できず、無防備で介護を行うしかなかった	収入はそれほど変化なし	100%変 化なし	介護報酬	小学校休業による主婦層の出勤状況、ストレス。テレワーク、助成金についての検討		
居宅部会 施設部会	マスク・消毒液・ハンドソープ・手袋など、いつも買っている備品がいつもの業者から購入できず、別業者を探した(最終的に足りなくなる前に手配できた)	利用者の利用日控えはあったが、全体として減収にはならなかった	100%超	介護報酬	特になし	うちのように、単体の事業所からすると、他の大手事業所さんはどのようにされているか(消毒・換気・利用者への検温等)知れたのはとても有難かったです。(コロナ渦で行われたアンケート結果の情報)	速やかなマスクの配布、体温計電池の配布など、事業所側の立場に立って、迅速に対応して頂き、本当にありがたかったです。 どういう基準で、事業所閉鎖になるか(事業所で1名でも発生したらなのか、クラスターなのか、市内でクラスターなのか。閉鎖の場合は、事業所単独で閉鎖なのか、市内一律で閉鎖なのか、地区毎で閉鎖なのか)、何か具体的な基準が決まっているのであれば、事前に教えて頂きたいです。 事業所側も、利用者側も(家族含む)、『いつ閉鎖になるのか』と不安な日々を過ごしていました。
訪問部会	マスク、消毒液、ゴム手袋など必要物品の確保に困った。また、それぞれの価格の上昇も問題であると思う。	病院からの新規利用者以来数は前年度の同時期と比較して減少した。	100%変 化なし	稼働率、 利用率	大きなトラブルはなかった。	ステーションを一定期間休業せざるを得ない状況になった際のことでも考えなければいけないと思う。その場合、現在訪問している利用者への定期訪問ができなくなってしまう。医療依存度の高い利用者もいる中で、全く医療の目が行き届かない状況が長く続く事態は避けるべきであるので、 市内の訪問看護ステーション間で連携をとり、フォローし合うこと を視野に入れるべきである。 デイサービス等の利用ができないため外部との関りがなく、日常生活に不安がある方については、訪問看護を一時的に利用して体調管理をするなど、訪問系のサービスを有効に利用してもらえるとよいと思う。	利用者、家族が濃厚接触者となった場合でも、訪問の必要性があれば医療者として訪問せざるを得ない状況もあると考えている。そうなった場合、必要物品も確保できない中での訪問は、自分達が感染することもあり得るし、そこから更に媒介してしまい感染が拡大するリスクもある。必要な時に感染予防が万全な体制で対応できるよう、何らかの形で物品が確保ができる体制を作ってほしい。
居宅部会	マスク、消毒液がなくなった。テレワークができるような設備がなかった。	新規利用者を受け入れることが困難であった。面談の必要性の判断に困った。面談できないままサービス利用開始など混乱することがあった。	80%～ 99%	稼働率、 利用率	職員家族の学校が休み職員が不足した。	職員家族の学校が休み職員が不足したこともあるが、それに対する理解が他事業所からも得られにくい。	小規模であろうとなかろうと集合する勉強会などのリスクは高いのではないかな？
居宅部会 訪問部会 通所部会 施設部会	マスク、消毒液は緊急事態宣言前とそれほど変化はありませんでしたが、 ディスポのエプロン、プラスチックグローブ の入荷が難航しました。 外部との会議は web会議 を実施。事務部門は ネットワーク環境 がありますが、施設の細部までは網羅しておらず、整備を計画しています。	通所サービスは一部自肅される方がいました。入所サービスは併設病院や個室を利用し、一定期間スクリーニングの上で受け入れしており、一定の稼働低下がみられています。部門全体として減収には至っていません。	100%超	介護報酬	保育所受け入れ自肅に伴う影響が数人ありましたが、当法人の保育施設を一時的に利用することにより、就業継続が可能となりました。また、保育所の受け入れ時短については、小学校休業等対応助成金を利用し、就業できる範囲で調整しました。 新規採用は感染前と同様に難航しています。介護職員は未経験者、無資格者の応募が大半を占めています。	同業に関しては、施設の考え方、事業継続上の収益事情にもよりますが、 感染対策の厳行、ゾーニングや面会制限の解除などは慎重を期して欲しい と考えます。 協議会への要望については、同業他社を含む他事業所がどのような対策をとっているかの情報提供をいただけますと、当法人の対策が適切であるが、同業他社に対して著しく逸脱した対応となっていないかを客観的に確認できるため、とても助かります。(本アンケートもその一環であると思います)	当法人においては、一般の緊急事態宣言の解除については、経済対策上の側面が大きく、医療・介護サービスにおける行動緩和とは全く別物であると考えます。 当然、感染対策の継続、利用者の面会については、オンライン面会を開始しており、面会中止は当面継続していく考えです。 事業継続の際にある事業所もあろうかと思いますが、ガイドライン上の感染防止対策としての各種制限が保たれる、或いは解除であればその水準を市内事業所がしっかりと共有できるよう発信していただくなど、指導、監督、相談の継続をお願いしたいと思います。
居宅部会 通所部会 施設部会	体温計用電池が不足し発注しても入荷がなかった。	特に変化なし。	100%変 化なし	稼働率、 利用率			今年度に限っては運営推進会議等休止でもよいかなと思います。
居宅部会	今のところ特になし。	事業所が自宅で入浴できる人はサービスを控えて欲しいと言われ、サービス利用が出来なかった人と家族が念のために自肅したいのと言われプランが無かった方が2.3名あった。	80%～ 99%	稼働率、 利用率	今のところ特になし		現在更新手続きが減少？調査が少なく感じているのですが、6か月後に多くなる事で第2波で調査時に調査員への感染リスクがあるのではと心配しております。
居宅部会	新型インフルエンザの後から、冬の前に マスク は10箱程度購入して準備しているので、困ることはありませんでした。	新規受け入れを控えてみえたところがあったため、かえて依頼がありました。	100%超	介護報酬	1人ケアマネなので、職員は自分のことだけですから、とにかく自分の3密にかなり気を配り、自肅しました。新型コロナの特徴や発生状況等の情報は、ずっとやり続け、何を注意したらよいのかなど、日々考えていました。	各立場の方が、意見等を発信され、会長等の受けとめや気付きもあり、とてもよかったです。今回を機に、要望等があれば、実現するかは別に、発信していくと良いと思います。	会長や協議会等の発信に耳を傾け、できることへの対応を早急に下さっていたのでありがたかったですし、各務原市が一丸となって取り組んでいるという感が強くありました。これからもよろしくお願ひいたします。
訪問部会 通所部会	高額な消毒薬やアルコール除菌ティッシュ等購入せざるを得ませんでした。	施設への訪問が出来なくなったり、施設からのデイサービスの利用者さんが来なくなり、減収となった。	0%～ 59%	介護報酬	保育所の園児を持つ職員が長く仕事を休んだ。他の職員が忙しい思いをした。	情報はいち早く知りたいのですが、同じメールが複数届いて分かりにくい時もあります。	スーパーの駐車場等が一杯になっているのを見ると心配になります。今まで自肅していた反動で出かけているようですが、今までも気をつけて新たな日常として密を避けてほしいと思います。年齢別で時間制限をするとか、何らかの方法を取れたらと思います。
居宅部会 訪問部会 通所部会	マスクなど 衛生用品 の料金が高騰し、支出が増えた	新しい生活様式に沿って事業を行うとどうしても、事業を縮小せざるを得ない。通所介護主体で行っていると、死活問題になる。	80%～ 99%	介護報酬	兼務職員をなくしたので、職員の働き方が変わった。 テレワーク導入により、様々な業務の無駄、必要性の有無を感じた。	感染者が出た場合は、情報開示して欲しい。その時はできるだけ助けあい、事業所を責めるような対応はしないでほしい。 予防しても防ぎきれないことはあるので、、、	各事業所と行政とのやり取り、相談など、オンライン化を進めて頂くというのではないかな。 各務原市では介護ネットワークが出来ているので、構築しやすいと思う。 情報収集、包括ケアの推進も新たな形で加速するかも、、、もし、 介護事業所や、医療機関などで感染者が出た場合は、各事業所には情報開示してもらえる、現場は混乱せず対策をたてやすい。 通所介護が休みの時は、訪問介護にて対応してください、というのは現実には難しいです。 小規模多機能施設のイメージだと思われるが、小規模多機能施設は、通所は通所の内容、訪問は訪問の内容、決まっていますが、通所介護の必要性の中、無理無理訪問介護にあてるのは、、、難しいです。
通所部会	消毒薬が母体にも入りにくくなり焦りました	変わりなし	100%変 化なし	稼働率、 利用率	特に変わりはありませんでした。	備品が足りている所からの物資の援助	出来るなら、終息までのマスクや消毒液などの支援物資を継続してみたいかながらでしょうか
通所部会	マスク・プラスチック手袋・ガウンは備蓄及び各務原市からの支給分に対応できている(弊社で感染疑いの方に対応することが無かったこともあるが)。 消毒薬 に関しては 手指用消毒薬 が手に入らず、 高濃度エタノール製剤 で代替していた。現在は次亜塩素酸水も使用し場所に応じて使い分けている。	ピーク時でおおよそ2割の利用者様が利用を控えられた。要支援～要介護1の利用者様に利用控えが目立った。新規の利用者は緊急事態宣言中は依頼がなかったが、GW明けから少しずつ問い合わせが増えてきている。	80%～ 99%	介護報酬	小学校低学年のお子様を持つ職員が出勤できなくなった。送迎ドライバーを生涯現役促進協議会を通じて募集するイベントを企画したが中止となり採用が延期になっている。通常業務に加え、施設内消毒及び利用者様への3密回避への対応等にて業務負担が増えた。また感染しない・させないという危機意識を職業倫理上かなり感じており、心的疲労感の訴えが多くみられた。	協議会による横の繋がり強さは他市町村にはない強みだと思うので、いざどこかの事業所で感染者が出て施設閉鎖となった場合の代替事業所の選定などがスムーズにいこう、 事業所周辺の近隣住宅や事業所との感染症に対する意見交換や情報共有できる場が定期的 にあればと思います。	今冬のように医療・福祉への衛生用品が足りなくなる事態を防ぐための対策 をお願いしたい。大きな事業所は多量に備蓄できるキャパがあるが小さな事業所では多量の備蓄が難しいと思われるため。
居宅部会	ネットワークが 不十分 なため、テレワークができない。	ソーシャルディスタンスの観点から、新規相談者が減っている。 ショートステイサービスの受け入れ制限により、利用調整がスムーズにできなくなった。	80%～ 99%	稼働率、 利用率	当事業所において、そのような状況はありませんでした。		

